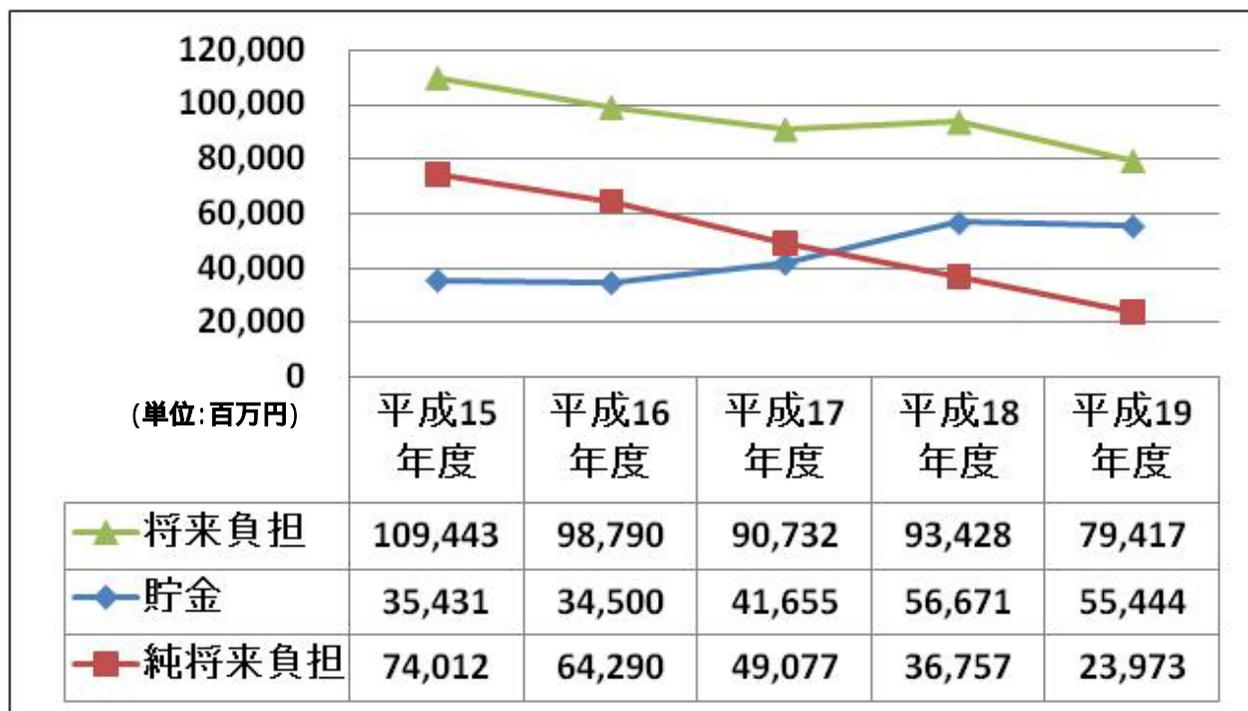


発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
 TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
 HP;http://ikuma-iwata.net (毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員(区政杉並クラブ所属。現在、幹事長)。平成19年5月より2期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
 家族:妻、長男(5歳)、長女(3歳)、次男(0歳)。

将来にわたる財政負担、5年で3分の1に
 ~ 財政健全化が進んでいます ~



将来負担・・・地方債残高及び債務負担行為(将来の支払いを約束した契約)の翌年度以降支出予定額

貯金・・・各種基金残高

純将来負担・・・将来負担 - 貯金

保健福祉費	123,319 円	43.7%
総務費	30,274 円	10.7%
教育費	41,708 円	14.8%
都市整備費	24,768 円	8.8%
環境清掃費	17,221 円	6.1%
生活経済費	15,735 円	5.6%
公債費	27,222 円	9.7%
議会費	1,653 円	0.6%
合計	281,900 円	100.0%

区民一人あたりの目的別決算額



平成19年度の杉並区各会計決算が認定されました。

この間の財政健全化への取り組みの結果、将来にわたる財政負担は、平成15年度の740億円から平成19

年度は239億円余に大きく減少しています。しかし、左の表でわかる通り、区の支出の4割以上を保健福祉費が占めており、この費用は少子高齢社会の進展に伴い、今後も増加が想定されます。

気を緩めることなく、パラマキ財政に戻らないよう今後も財政規律を維持していくことが、将来世代に対する責任と考えます。

決算特別委員会(1)

10月1日から9日まで、決算特別委員会が開催されました(審議対象項目毎に、第1部～第4部にわかれています)。以下、私が行った質問の概要です。



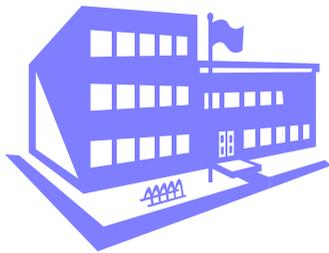
(決算特別委員会における質疑の様子。全議員参加で行われます。)

<第1部>

- 施設使用料

<第4部>

- 学校希望制度
- 学校支援本部



杉並区では、「**地域が学校を支援する力**」に重点をおき、「**地域と連携した教育改革**」を推進しています。

その拠点として**各学校に学校支援本部**(地域住民がボランティアで学校行事や授業を手伝うための組織。学校からの要請に対応するだけでなく、放課後や休日に**独自事業**も行います。)を**順次設置**していますが(現在、約半数の学校に設置)、既存の学校支援の仕組み(学校教育コーディネーターや放課後子ども教室、学校評議員等)とどのような関係になるのか、はっきりしていない部分があります。

こうした点について質問し、**学校支援の仕組みが縦割りにならないよう**求めました。

また、私立校や学校希望制度により隣接の学校へ通う子供等、「**自校以外の子供**」も、**学校支援本部が行う独自事業に参加できる**ような仕組みとすることも求めました。

<第2部>

- 犯罪被害者支援
- 区立施設内の職員住居
- 杉並ジュニアオーケストラ
- 情報化政策

<第3部>

- AEDの無償設置と区の広報施策**
- 子育て応援券
- ごみの戸別収集

現在杉並区では、159台のAED(体外式除細動器)を、**区役所や学校等に配備**しています。急速に配備が進んでいることは評価できますが、一方で、**ゆうゆう館(旧敬老会館)や保育園等には配備されておらず**、こうした施設への配備に強い要望があります。

しかしながら、1台あたり30～40万円の費用がかかり、また償却年数が6年であることを考えると、公費で購入を続けることが難しいのも確かです。そこで、他自治体で取り組まれている例ですが、

◆**液晶モニター付きAEDスタンドを、企業が公共施設に設置(AEDを含め、設置・維持費用は企業が負担)**

◆**液晶モニターでは企業広告を放映**

◆**ただし、液晶モニターからは、一定の区政情報も提供**

という仕組みを取り入れられないか提案をいたしました。

どのような公共施設であれば、この仕組みで対応してもよいかの検討は必要ですが、**新たな区の広報手段の確保**という視点も含めて、今後も色々な手法を提案していきたいと思えます。



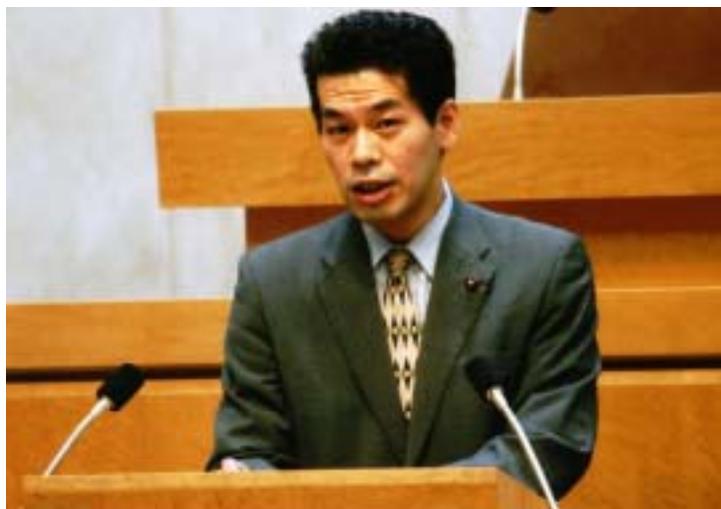
決算特別委員会(2)

< 会派意見開陳 >

第1部から第4部までの決算審議を踏まえ、会派としてすべての決算を認定する旨、意見開陳を行いました。

今後の区政経営への要望としては、

- 引き続き、**健全財政路線を堅持**すること
 - 役所とは「お役にたつ所」**であることを常に意識すること
 - 次世代を含めた「すべての人」への“真の意味でのやさしさ”を追求していくこと
- 等を求めました。



委員会視察

9月2日、道路交通対策特別委員会の副委員長として以下の視察を企画・実施しました。

- 西荻窪北駐輪場
- 三鷹市立すずかけ駐輪場
- 武蔵境通り(自転車専用道路)
- 南北バス「すぎ丸」第三路線(久我山 - 西荻窪間)の試走

三鷹市立すずかけ駐輪場で視察した機械式地下立体駐輪機には、1基あたり180台の自転車が収容できます。

入出庫にかかる時間も、平均10秒です。

駅前駐輪場の整備が課題の当区においても、十分検討に値する設備であると思います。



三鷹市立すずかけ駐輪場の機械式地下立体駐輪機

インターン生の受け入れ

7月から9月にかけて、大学3年生のインターンを受け入れました。

以下、インターン生の感想(抜粋)です。

議員の資質についても考えさせられました。議員を務めるために必要な知識や常識をきちんと持っているか、選ぶ側の私たちも見ておく必要があるということ学びました。

また、様々な視点から物事を見る能力も鍛えられたように思います。政治の世界にはいろいろな考え、立場の人がいます。実際その中に入ってみると、いろんな視点に立ちすぎて目が回ってしまうくらいでした。日常のどんな場面でも、異なる視点で考えることは大切です。特に社会人になって就職してからはより欠かせなくなるでしょう。この経験を通して、異なる視点の数だけ異なる考えの人が存在し、そこに立てた分だけ多くの人々の身になって考えられるということだと思えるようになりました。ここが自分の中で一番変わったところかもしれません。



これまでに、**大学生3名、社会人1名をインターンとして受け入れ**てきました。本来身近であるはずの地方議員ですが、その仕事や日常がどのようなものか、ほとんど知られていないのが残念ながら実情だと思います。

インターン生を受け入れることは、私にとっても時間と労力のかかることではありますが、今後も意欲のある若い人がいれば、積極的に受け入れていきたいと思っています。

ホームページを新しくしました

当選直後からホームページをほぼ毎日更新してまいりましたが、「見栄えが悪い」とのご指摘をしばしば受けてまいりました。

そこで、9月1日からホームページをリニューアルしました(下の写真がトップページの上段です)。それにあわせ、平日は毎日、活動のなかでの出来事を取りあげ、写真をまじえて皆様にご報告しています。例えば10月は、

- 決算審議の状況
- 小学校開校30周年記念式典
- 犯罪被害者支援パネル展
- 南北バス「すぎ丸」第三路線
- 小学校、幼稚園での運動会
- 学校における行事の意義
- 第1回すぎなみ舞祭
- 学校希望制度
- 起震車体験
- 福祉会館まつり及び環境博覧会
- 交通安全ふれあいフェア
- 委員会視察の報告



等を取りあげております。

紙面に限りのある区政報告書ではお伝えしきれない私の考え方等も述べておりますので、**区政報告書とあわせ、ご覧いただければ幸いです。**

なお、従来通り、日々の活動記録やメルマガジン、区政報告書や政務調査費報告書も掲載しております。

-----<キリトリ>線-----

-----<キリトリ>線-----

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

FAX: 03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

FAX: